

第 1 学 年 保 健 体 育 指 導 案

授業テ - マ

基礎・基本の定着をはかる指導の工夫
確かな学力を付ける授業のあり方

指導者
実施年月日

指導主事 縄田典子 先生
平成 15年 9月19日 第4時限

1. 科 目 保健
2. 単 元 現代社会と健康 「エイズとその予防」
3. 教 材 教科書・現代保健ノ - ト・プリント
4. 対象生徒 普通科 1年B組 31名(男子16名,女子15名)
5. 授業場所 1年B組 教室
6. 授業者 城山良子
7. 単元(教材)観 感染症の新たな問題が起こっていること,及びその予防には,社会的な対策とともに個人の適切な行動が必要であることを理解できるようにする。
8. 生徒観 純朴で和気藹々とした雰囲気を持つクラスである。
性に対する知識は,個人差が大きく,性感染症の危険に対する意識は極めて低い。
9. 指導観 高校生の性体験は少数派でなく,“望まない妊娠”と“症状のない性感染症”が深刻で重要な問題になって久しい。エイズ・性感染症は誰でもかかる病気であることを教科書・新聞・意識調査の結果などを使って理解させ,エイズ予防に結びつく適切な行動をとれるようにする。
10. 単元目標
- ・エイズ・性感染症について興味・関心を持ち,科学的に思考・判断できるようにさせる。
 - ・自分の体の大切さや他人との関係をどのように保つかを学ばせる。
 - ・現在および将来の生活において,課題に直面した場合に,自らの健康の管理や生活行動の選択及び健康的な社会環境づくりが実践できるようにさせる。
11. 本時のねらい
- ・エイズという病気を理解させる
 - ・エイズの現状を理解させる。
 - ・社会的な対策とともに個人の適切な行動が必要であることを理解させる。

12. 本時の評価規準

評価規準	内 容
関心・意欲・態度	誰でもかかる性感染症について関心を持ち,意欲的に取り組んでいる。
思考・判断	科学的に思考し,判断することができる。
知識・理解	エイズをめぐる状況を理解し,適切な行動をとることができる。

13. 本時の指導展開 (50分)

	学習活動	指導上の留意点	評価の規準
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習 感染症の中の性感染症, (エイズ, クラミジア) について ・本時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・性感染症について学習したことを再確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HIVの感染によっておこる病気であり, 免疫機能を低下させることからさまざまな病気を引き起こすことを理解しているか。
展開 40分	<p>エイズの現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界状況について知る。 世界では4,200万人余りの人がHIVに感染しており, そのうちの95%は気づいていない。また, 毎日1,5000人が感染し, 8,000人がエイズを発症して命を失っている状況にある。また, 貧しい国々にHIVが蔓延している。 ○なぜそうなっているのかを考え発表させる。 ○日本の状況について知る 年々増加, 特に若者に拡大している事が問題。また, 多くの人が発症して初めて自分が感染していることに気づくケースが増えている。 ○なぜそうなっているのかを考え発表させる。 エイズへの個人的対策について知る。 ○HIV感染経路を理解し, 防ぐにはどうしたらいいか考え発表する。 エイズへの社会的対策について知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな発言ができる雰囲気をつくり, 積極的な発言を促す。 ・日本では当初HIVを含む血液製剤による感染者が非常に多く, 今は性行為が主たる原因であることを理解させる。 ・セックス=愛? 個人の適切な行動が必要であることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の状況を説明できるか。 ・地球規模で取り組まなければならない状況である事を理解しているか。 ・日本の状況を説明できるか。 ・感染経路を理解しているか
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を振り返り, ねらいを達成できたか確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セックスに対する自分の考えを持てるか。

14. 評価方法

- ・観察による評価
- ・ノート提出
- ・定期試験で評価する

自分の生き方を自分で決めるために

高校生の性体験は少数派でなく、“望まない妊娠”と“症状のない性感染症”が深刻で重要な問題になって久しい。性・性交に対する自分の考えをもつことができるために、様々なメッセージを伝え続けている。学んだことを知恵にして、日々の生活で生かしてほしい。

性感染症（エイズ）の授業に入る前に「性に関するアンケート」を実施した。

「性に関するアンケート」(記名)の抜粋 1年生 男38人 女38人 合計76人

1. あなたは、親しくしている異性の友人から「性交(セックス)すること」を求められたとき、どういう態度・意志決定をしますか。

	男	女	合計	%
相手の求めを受け入れる	0	0	0	0
雰囲気によっては性交する	0	0	0	0
避妊・性感染症予防を求め、性交する	13	8	21	28
よく話し合い、性交しない	9	12	21	28
絶対拒否する	8	9	17	22
その時にならなければわからない	6	7	13	17
その他	2	2	4	5

理由

お互い、好きだったら、きちんと避妊などしていれば、お互い安心して性交できる感染したり、妊娠したりしたら責任をとるし、後から後悔しても遅いから
お互いのことを思っているなら、避妊・性感染症予防をするだろうし、本当に好きな人だったら、したくなると思うから。

よく話し合い、性交しない。もし妊娠したら自分たちも困るし、親なども困ると思うから。それに、何も話し合わず、ただ拒否なんじゃなくて、話し合うことによってお互いが思っていることを理解することができるから。

学校に行っているんだし、性交をして、もしも妊娠をしていたら、大変なのは自分だから。

男 そういう気がない時はしたくないから。お互いが良いと言えば避妊とかをしてする。

男 軽々しく性交するべきではない。話し合ってお互いに納得しないと、この後の友人関係が悪くなるから。

男 行動にまだ責任が持てないから。

2. あなたは高校生が「性交すること」について、どう考えますか。

	男	女	計	%
避妊をしていればいい	7	7	14	33人 43%
愛し(好き)あっていたらいい	1	8	9	
お互いが良く話し合ってから	3	3	6	
責任がとれるんだっいたらいい	1	3	4	

もし妊娠したら...よくない	4	7	11	22人 39%
しないほうがよい	5	3	8	
軽々しく考えてはいけない	0	2	2	
正しい知識がないならしない	0	1	1	
まだ早い	3	3	6	8%
結婚してから	1	1	2	3%
その人の自由	1	1	2	3%
いろいろ	1	0	1	1%

理由

自立していないし、まだ早いとも思うけど、お互い愛しあっていけばいいと思います。

愛のあるものならわかるけど、遊びとか軽い気持ちでするのは最低だと思う。

別にかまわないことだと思う。ただし、避妊をきちんとすべきだと思う。そうでなければ、育てていけないからしてはいけない。

良くも悪くもないと思う。ちゃんと自分たちで責任がとれるんだっいたらいいと思うけど、そうじゃないんだっいたらやめたほうがいい。「もし妊娠したら」 「？」っていうのをしっかり考えといたほうがいいと思う。

好き同士だったら別にいいんじゃないかなと思う。でも、高校生なんだから避妊のことをちゃんと考えないといけないと思う。

私は、お互い好きどおしであれば性交しても良いと思います。でも、性交する前にお互いの気持ちを話し合うと良いと思う。

学校にも行っていて、親にいろいろしてもらいながら生活をしているので、自立してからしたらいいと思う。

もし妊娠しても育てられない。彼・親にも言えないという状況の彼とのつきあいなら、性交はしてはいけないと思う。

別に良いと思う。自分の身体は自分で責任のとれる範囲で。

男 避妊とかをしっかりしていれば良いと思う。

男 お互いが良くて、安全であれば良いと思う。

男 高校生だからいけないということはないと思う。

男 責任が持てないなら性交はしない方がいい。

男 僕はちゃんと妊娠しても責任をとれるようになってからやれば良いと思う。

まとめ

1. 「性交すること」について

避妊・性感染症予防を求め、性交する：28% よく話し合い、性交しない：28%

絶対拒否する：22% その時にならなければわからない：17%

2. 高校生が「性交すること」について

条件つきいい：43% いけない：39% という結果になった。

2年前のアンケートでも東京と変わらない性交経験率の本校。高校生の性体験は実際にありうることとして「性交してもいい愛って何?」「愛=性交?」「責任を取るってどういうこと?」「避妊は100%?」などの問いかけをしながら、きちんと自分で考え、決定できる力をつけさせたい。